

地方創生推進交付金 横展開タイプ

高齢社会に対応した健康ものづくり産業創出事業 の概要

28年度内示額13,250千円
(事業費26,500千円, 申請通り)



- 旭川地域には、家具や食品等の高い技術力を持つものづくり企業が集積する一方、北北海道で産する農畜産物、海産物、木材等の物流拠点となっており、更にはサービス分野では医療・福祉・介護施設が集積するなど、特長ある産業を形成している。
- これら特長ある産業の融合により、医療・福祉施設をはじめ広く高齢者等の暮らしの快適性の向上や、癒やしに繋がる木製品や器具等、地元食材を活用した健康的な食品等の開発、販売を通じて、高齢者社会のニーズに即したものづくりのブランド化を推進したい。
- このため、次世代育成から新規創業、第2創業、新製品開発、販路開拓まで当市の地方創生を担うビジネスとして自走するために必要な一連の支援を、地域の産学官連携により、継続して実施していく体制を強化し、地域産業の高度化を図る。

【28年度事業全体概要】 (パッケージする各種事業)

次世代人材育成

【旭川工芸技術等継承事業費】
(予算額:1,000千円, 申請額:1,000千円)
○建具等製造技術実習 など

【技能のまちづくり推進費】
(予算額:3,227千円, 申請額:1,261千円)
○技能五輪派遣 など

【国際家具デザインフェア2017旭川開催準備費】(予算額:6,000千円, 申請額:6,000千円)
○コンペ作品募集 ○審査会開催 ○試作品製作 など

【ものづくり応援・人材育成費】(予算額:3,475千円, 申請額:719千円)
○ものづくりサマーキャンプ(地元の若者の職場体験) など

新規創業・第2創業

機械金属スタートアップ支援費や経営アドバイザー派遣事業費など、市の一般財源事業でカバーする。

新製品研究・開発

【ユニバーサル製品開発支援費】
(予算額:2,105千円, 申請額:2,030千円)
○ユニバーサル製品試作費 など

【新製品開発・販路拡大支援費】
(予算額:15,524千円, 申請額:10,990千円)
○プロモーション戦略補助
○新製品等開発・研究促進補助 など

【あさひかわ健康食づくり推進費】
(予算額:4,700千円, 申請額:4,500千円)
○健康食品開発の技術支援
○健康食品開発経費助成 など

販路開拓・拡大

家具等国内外販路拡大支援費やなど、市の一般財源事業でカバーする。

【例えば】

医療・福祉施設等で使いやすい軽量、堅牢、衛生面を考慮した家具、器具、建具、内装デザイン
↓
高齢世帯等に普及

病院食・介護食・健康食等として、普及

事業全体概要

	28年度	29年度	30年度
各年度の取組の位置づけ	健康産業の創出に向け、次世代人材育成、新規創業、第2創業、新製品研究・開発、販路開拓に至る一連の取組をパッケージ化し、産学の連携体制を再構築しながら、人材育成・確保や技術力・デザイン力向上の取組のほか、医療・福祉関係者等の協議、ニーズ、シーズの把握、案件発掘、試作品開発などを推進する。	前年度に構築した連携体制のもと、健康視点での開発案件の具体化に向け、試験機器等の導入など、体制整備を行う。また、医療・福祉関係者等を含む多業種のワーキングや、異業種のマッチングや産学連携に係るコーディネート人材を確保する。人材育成ではビジネスプランコンテストの実施などにより新規創業者等の事業化、商品化を重点的に支援する。	前年度に構築した健康ものづくり製品開発体制のもと、更なる開発案件の掘り起こし、試作品制作、市有施設等でのモニター利用等を推進しながら、商品化につなげる。また、試験分析機器等の更なる充実を図り、地元企業の独自開発、企業同士の共同開発、あるいは企業と大学の共同開発を促進する。さらに研究開発型の創業支援を促進するため場づくりに向けて検討する。
主な事業内容	○ユニバーサル製品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・多業種によるワーキング設置 ・試作品開発に案件発掘 ・セミナー開催など 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作品開発 ・試験機器導入 ・セミナー開催など 	
	○健康食品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・健康食品開発技術支援 ・セミナー開催 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・多業種によるワーキング専門家確保 (企業同士のマッチング、産学連携コーディネートなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有施設等での試作品モニター利用 ・共同開発促進、商品化
	○新製品販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発補助金 ・あさひかわ産品プロモーション戦略補助金 など 		
	○次世代人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・工芸技術等継承支援(製造技術実習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能者表彰、技能五輪派遣 ・若者ものづくり職場体験 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランコンテスト開催 	<ul style="list-style-type: none"> 工芸技術等継承支援等の研修用機器整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際家具デザインフェア旭川開催準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際家具デザインフェア旭川開催 	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発型ファブラボ設置検討

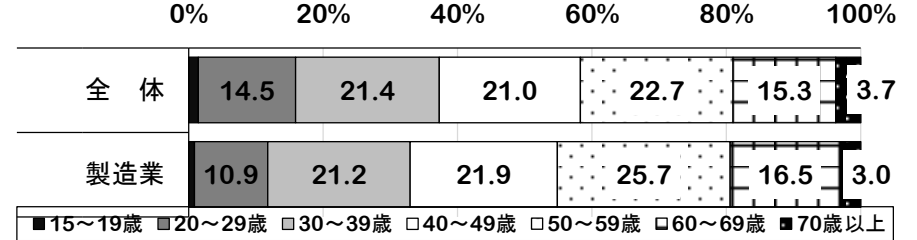
【客観的なデータ】

- 当市の家具関連産業は、国内有数の産地として集積しており、かつ当市では数少ない域外収支がプラスの産業となっている。
- 一方、従事者の年齢構成が比較的高く、若い技術者の確保が大きな課題となっている。
- 医療・福祉が集積(特に医療について人口10万人当たりの医師数が368.9人(H2612末現在)で全国平均244.9人、全道平均240.5人を大幅に上回る。)

～RESAS全産業火花図(域外販売額-域外仕入額)～

製造業中分類	域外収支	2012年	2014年
木材・木製品製造業(家具を除く)	+	-	-
家具・装備品製造業	+	+	+

～主要産業別従事者年齢構成(H22国勢調査)～



【連携体制】

5つの産業支援機関で構成された旭川ものづくり総合支援センターと、市内4大学1高専で構成する旭川ウェルビーイング・コンソーシアムが連携して、産学のプラットフォームを構成し、新規創業者や第2創業に挑む地元企業等の各種相談やニーズ・シーズの把握、医療・福祉・介護事業所等を含むサービス産業、更にはIT企業等とのマッチング、研究開発や販路開拓に係る支援等を総合的に行う。

旭川ものづくり総合支援センター

- 工業技術センター
- 工芸センター
- 食品産業支援センター
- 旭川産業創造プラザ
- 中小企業総合支援センター

食品加工、家具、機械金属などのものづくり産業振興を総合的に支援することを目的に設置され、企業ニーズや大学・公設試のシーズの積極的な掘り起こしや、産学官交流によるビジネスチャンスを生み出す。

(一社)旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

- 旭川医大
- 道教育大
- 旭川大
- 道東海大
- 旭川高専

高等教育機関(4大学1短大1高専)と関係団体とでの知の連携体として設立され、学生および地域住民の人材育成と地域活性化につながる共同研究を推進。

北北海道健康ものづくり産業拠点

産学官のプラットフォーム

【各種相談】【ニーズ・シーズの把握、ビジネスマッチング】

【新規創業、開発・研究、販路拡大などビジネス化に必要な一連の支援】

ものづくり企業

医療・福祉・介護等サービス業

IT企業等

若者地元就職、企業後継者の確保、UIJターン人材、国内外のデザイナー人材誘致